#0 伏線(2023年8月21日)

構成を作るメリット

- ①全体を俯瞰できる
- ②内容を深堀りできる
- ③効率よく文章を書ける
- ④書く内容が決まっている
- ⑤複数の投稿へ横展開できる

それぞれのメリットについて説明します。

①全体を俯瞰できる

構成があることで「何をどの順番で書くか」が明確になります。

構成を作り終えたら全体像がわかりますので、「論理が飛躍していないか」や「順番を入れ替えたほうがわかりやすいか」という視点で確認できます。

この確認こそが「全体を俯瞰している」状態です。

②内容を深掘りできる

構成を作ることで「どこまで詳しく語るか」を決めることができます。

たとえば

- ・反論処理を加えて読み手の不安を払拭する
- ・具体例を交えて読み手のイメージ力を促す

といった具合です。

長文(またはスレッド形式)のポストを作る際に有効です。

③効率よく文章を書ける

構成があれば、あとはその内容に沿って書くだけ。ゼロから書こうとすると、内容を決めるところから始まります。

よって、何にもないところから書くときと比べて、効率はアップします。

④書く内容が決まっている

構成に沿って書くだけなので、「どうしよう...書くことがない」と迷うことはありません。

いざ文章を書こうとすると書くことがなくて困るという方にこそ、構成作りを試していただきたいです。

⑤複数の投稿へ横展開できる

1つのテーマに対して、数日にわたって投稿することもできます。

たとえば「文章添削のコツ」というテーマで投稿を作るとし、次の3つのコツがあるとします。

- ① 解釈は1通りになっているか
- ② 主張は1つに絞れているか
- ③ 論理の飛躍は見られるか

これを「1日1つ解説」していくなら、こんな感じの構成とすることができます。

1日目:3つのコツを提示

2日目:1つ目のコツ解説

3日目:2つ目のコツ解説

4日目:3つ目のコツ解説

5日目:まとめとして図解

つまり「構成を作る」には「1つの投稿に対する構成」もさることながら「複数にまたがる投稿に対する構成」も含まれます。

いかがでしたか?

何もないところから始めるよりも、早く文章を書けるので、ぜひ構成作りを試してみてください。

まずは1週間から。オススメです。

#1 導入(2023年8月22日)

伝わる文章とは?ひとことで言うなら「わかりやすい文章」です。なぜだと思いますか?わかりやすい文章は、読み手のなかにスッと入ります。それだけじゃありません。読み手の腑に落ちる文章ともいえます。これこそが『読み手に伝わった瞬間』なんです。だから伝わる文章とはわかりやすい文章なんです。

#2 本論①(2023年8月23日)

「伝わる文章」を書くコツ。1つ目は『対象を明確にする』です。文章の解釈は読み手によって変わるもの。だから「あなたが対象としている人に伝わること」だけを考えて文章を書いてほしい。その前提としてあるのが『誰に届けるか』なんです。ここがクリアになれば、あとはその人に向けて書くだけです。

#3 本論②(2023年8月24日)

「伝わる文章」を書くコツ。2つ目は『主張を**1**つに絞る』です。情報を多く詰め込むと、あなたが伝えたいことが読み手に伝わりません。よって、内容は『最も伝えたいこと(主張)』と『それを支える情報(理由や事例)』に絞ってください。主張と関係ないことは別の機会に書くくらいの割り切りが必要です

#4 本論③(2023年8月25日)

「伝わる文章」を書くコツ。3つ目は『適切な位置に読点を打つ』です。大前提として、読点は「大きな意味の切れ目」に打ちます。打つ位置を間違うと誤読を招く恐れがあります。つまり、あなたの意図と読み手の解釈が異なる恐れがあります。これでは「伝わる文章」になりません。次の例文をご覧ください

- ①あわてて、逃げる泥棒を追いかけた。
- ②あわてて逃げる泥棒を追いかけた。

①は「あわてて、」となっています。この文に主語を補足します。こんな感じです。

(私は)あわてて、逃げる泥棒を追いかけた。

主語を補足することで、あわてているのは私(=書き手)であることがわかります。

②はどうでしょうか。主語を補足すると、こうなります。

(私は)あわてて逃げる泥棒を追いかけた。

この文には読点がありません。そのため2つの解釈が成り立ちます。

1つは「あわてているのは私」という解釈です。

この場合、「あわてて」は「追いかけた」を修飾します。泥棒を追いかけたのは私なので、あわてているのは私となります。

もう1つは「あわてているのは泥棒」という解釈です。

この場合、「あわてて」は「逃げる」を修飾します。逃げたのは泥棒なので、あわてているのは泥棒となります。

このように2つの解釈が成立する場合、書き手の意図と読み手の解釈が一致しない可能性があります。

以上のことから「適切な位置に読点を打つ」ことは、「伝わる文章」を書くうえで重要といえます。

#5 本論④(2023年8月26日)

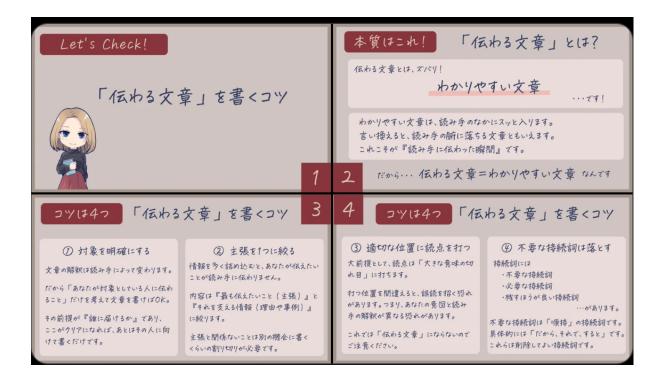
「伝わる文章を書くコツ。4つ目は『不要な接続詞を落とす』です。接続詞を使うと、読み手は次の文の流れを推測できますが。接続詞が不要なケースもあります。接続詞の種類とあわせてご確認ください。



#6 結論①(2023年8月27日)

【ブクマ推奨】「伝わる文章」を書くコツ

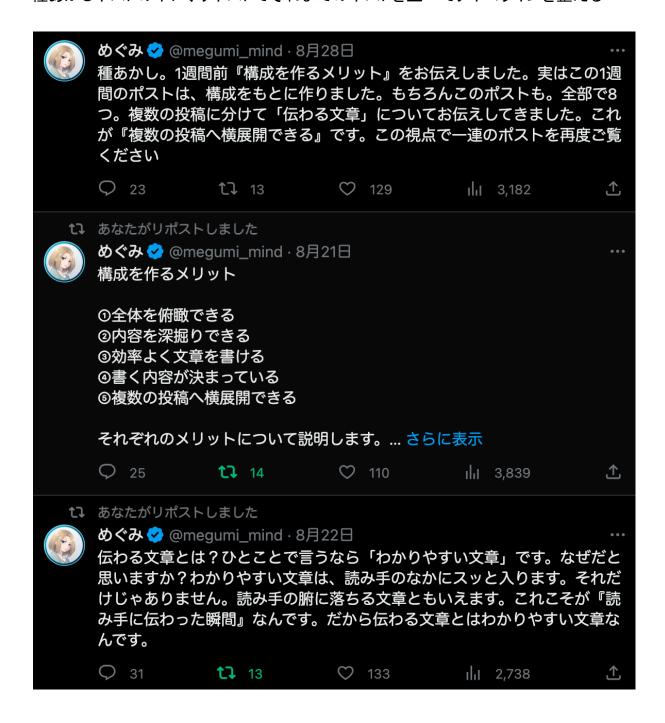
ここ数日の朝ポストでお伝えしてきたことを図解にまとめました。おさらいにお役立てください。



#7 結論②(2023年8月28日)

種あかし。1週間前『構成を作るメリット』をお伝えしました。実はこの1週間のポストは、構成をもとに作りました。もちろんこのポストも。全部で8つ。複数の投稿に分けて「伝わる文章」についてお伝えしてきました。これが『複数の投稿へ横展開できる』です。この視点で一連のポストを再度ご覧ください。

種あかしポストの下に、リポストでそれまでのポストを並べてタイムラインを整える



ta あなたがリポストしました めぐみ 🤡 @megumi_mind · 8月23日 「伝わる文章」を書くコツ。1つ目は『対象を明確にする』です。文章の解 釈は読み手によって変わるもの。だから「あなたが対象としている人に伝わ ること」だけを考えて文章を書いてほしい。その前提としてあるのが『誰に 届けるか』なんです。ここがクリアになれば、あとはその人に向けて書くだ けです。 \bigcirc 28 **t** 15 **(2)** 175 اراً، 6,371 仚 **ti** あなたがリポストしました めぐみ 🕜 @megumi_mind · 8月24日 「伝わる文章」を書くコツ。2つ目は*『主張を1つに絞る』*です。情報を多く 詰め込むと、あなたが伝えたいことが読み手に伝わりません。よって、内容 は『最も伝えたいこと(主張)』と『それを支える情報(理由や事例)』に 絞ってください。主張と関係ないことは別の機会に書くくらいの割り切りが 必要です Q 30 **1** 13 **\(\times\)** 145 111 3,136 仚 **ti** あなたがリポストしました めぐみ 🛂 @megumi_mind · 8月25日 · 🥒 「伝わる文章」を書くコツ。3つ目は『*適切な位置に読点を打つ*』です。大

「伝わる文章」を書くコツ。3つ目は『*適切な位置に読点を打つ*』です。大前提として、読点は「大きな意味の切れ目」に打ちます。打つ位置を間違うと誤読を招く恐れがあります。つまり、あなたの意図と読み手の解釈が異なる恐れがあります。これでは「伝わる文章」になりません。次の例文をご覧ください… さらに表示

 Q 31
 ♣ 15
 ♥ 145
 1 3,966
 ♣

